

2022 IN NAGOYA

# 日本の祭典

胡蝶の夢

10.15  
SAT

15 時開演 (17 時終演予定)

料金：観覧無料

(台風、大雨等の場合は順延)

Hisaya-odori Park

場所

ケヤキヒロバ  
(久屋大通公園)

伝統芸能をお楽しみください！

後世に残したい

江戸時代にタイムスリップして

芸どころ 名古屋で！

世界各地で開催してきた日本の祭典を

伝統芸能と映像の融合

八事の蝶々

民謡・三味線 剣持雄介

箏 笹野大栄

獅子舞 銀太郎・柳こう介

笛 はだひかる

和妻 向井健人

和太鼓 TSUWAMONO 彩

日本舞踊 西川華香

民謡舞踊 菱川玲子

英語落語 喜餅

場所：Hisaya-odori Park ケヤキヒロバ (久屋大通公園)

地下鉄名城線・桜通線「久屋大通駅」または地下鉄名城線・東山線「栄」市役所下車 中部電力 MIRAI TOWER (旧名古屋テレビ塔) から北約600m

主催：日本の祭典実行委員会 監修：織田紘二 (元国立劇場理事、日本演劇協会専務理事) 音楽：佐乃健介、太田英美 イラスト：ナカガワ暢

映像制作：(株)セットジャパンコーポレーション 後援：(公財)名古屋観光コンベンションビューロー

協力：和装カジウラ、八事の蝶々保存会、専修学校クラーク高等学院名古屋校、(株)ナノボ、kagura、(株)ゼロワン、Project K、名古屋ホテルズ会

お問合せ先：株式会社 JFF

TEL：052-413-8200 / MAIL：info@jffjff.com

愛知県名古屋市中村区香取町1丁目29番地

琴城会館内

# 日本の祭典

胡蝶の夢



## 日本舞踊 西川華香

愛知県幸田町出身 6歳より西川流日本舞踊を始める。9歳で「名古屋をどり」の舞台に立ち、以来数多くの舞台を踏む。2021年12月にはドバイ万博ジャパンデーで「春の海」「鶯娘」を披露した。



## 八事の蝶々（八事の蝶々保存会）

細く割った竹と和紙で蝶々を作り色付けをした八事（名古屋市天白区）の郷土玩具。明治維新後、職を失った武士が内職として作り、興正寺の門前でそば饅頭とともに売り始め、八事遊園地の土産としても大変人気があった。現在は、元小学校教員の安江春彦さんが保存に力をいれており、後継者をさがしている。



## 民謡舞踊 菱川玲子

名古屋市在住（長野県出身）名古屋民族舞踊研究かすりの会代表 「師匠は地元」という考えのもと、全国各地の民謡舞踊を訪れ、心温まる学びの交流を深めてきた。自主公演、中学校、病院、施設等で踊りを披露し喜ばれている。



## 笛 はだひかる

名古屋市出身 小学生の時に和太鼓に出会う。高校卒業と同時に和太鼓の道に進み、民謡、民舞、篠笛、能管など研鑽を積み、1999年、羽田康次と和太鼓ユニット「光」を結成。以来、国内外で活躍。



## 和妻 向井健人

名古屋市出身 マジックを大学の部活で始め、卒業後マジシャンとして活動を開始。2018年イタリアで開かれたヨーロッパ最大級の国際大会で優勝。和妻、洋妻いずれも得意とするが、特に日本の伝統である和妻の演技を磨き、日本各地のほか海外でも活躍中。



## 英語落語・進行 喜餅

半田市出身 2010年カナダ人落語家 桂三輝師匠の英語落語ワークショップがきっかけで、英語落語家としての道を歩み始める。現在保有演目は約40話。全国の寄席、中学校、高校、大学で公演。中毒性のある英語落語として定評がある。パブリックスピーカーとして、コミュニケーションやファシリテーションのスキルに関する講演・ワークショップを開催するほか、自らも挑戦者としてスピーチコンテスト世界大会優勝を目指している。

## 箏 笹野大栄

名古屋市出身 3歳より生田流箏曲を始める。17歳で海外公演に参加して以来、国やジャンルを飛び越え様々な楽器とコラボし、自身の新たな音楽性を探求、和洋、問わず積極的に演奏活動を続けている。2021年12月にはドバイ万博ジャパンデーで日本の伝統音楽を披露した。



## 和太鼓 TSUWAMONO彩

和太鼓・和楽器に剣舞が加わった総合和芸術集団（代表 鈴木哲朗）正月は二見浦にある寶日館の新春イベントに参加。愛知県内の祭り、病院施設、学校等で披露したり、海外公演にも多数出演。



## 監修 織田紘二

江戸と関西の中央に位置する名古屋は江戸時代を通して文化力の優れた土地でした。伊勢にも近く、尾張藩の後援もあってことに芸能文化は長く芸所として鳴らしていました。名古屋の観客の芸に対する慧眼と鑑賞眼は恐れられていたものでした。そんな名古屋（尾張）に残された尾張藩の下級家臣小寺玉晃の『見世物雑誌』や同様の身分だった猿猴庵によって纏められた『猿猴庵日記』などの資料を元に、近世江戸時代の名古屋の街中を背景にバーチャル空間と今そこにある生の芸能を同時にそして江戸時代にタイムスリップして散策していただくという企画です。コロナ禍の中、名古屋をそして伝統芸能に元気を与え、併せて楽しんで頂けるものと思います。是非とも皆様のご協力とご支援を頂戴したく、お願い申しあげる次第です。（元国立劇場理事、日本演劇協会専務理事）



イラストレーター・ナカガワ暢さんが描く江戸時代の街並み再現！

「日本の祭典」は、過去ニューヨーク、ミューンヘン、ミラノ、マドリッド、プラハ、ハノイで開催してきました。この度、名古屋で開催する当公演は「伝統芸能と映像の融合」という初の試みです。名古屋の新しい文化観光創出を目指しています。皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします！



「日本の祭典2022 in Nagoya」プロジェクトでは、クラウドファンディングを通じて皆様のご支援を募っています！

<https://camp-fire.jp/projects/573173>